



3R(リデュース・リユース・リサイクル) 講師マニュアル

平成21年3月

経 済 産 業 省

受託：財団法人クリーン・ジャパン・センター

はじめに

近年、CSR活動等の一環として多くの企業や団体等が、次の世代を担う子どもたちの環境・3R（リデュース＝廃棄物の削減、リユース＝再使用、リサイクル＝再資源化）教育に役立つ取組を行うようになりました。代表的なメニューとしては、次のようなものが挙げられます。

- 3Rに関する出前授業
- 3Rの取組に関する工場見学の受け入れ
- 3Rについて学ぶための学習会やイベントの開催
- 各種教材や資料の提供・貸し出し
- ホームページによる情報提供やインターネット掲示板による質問への回答、等

こうした取組の中でも、学校の要請で企業やNPO・業界団体等の方々がゲストティーチャーに招かれ3Rについて教える出前授業は、子どもたちが普段の授業では触れることの少ない3Rの実際を学ぶ機会として、活発に実施されるようになりました。

しかし、実際に出前授業を経験した方々の感想をお聴きすると、「大人を対象に3Rの啓発普及を行うことと、学校の授業の一環として子供たちに3Rのことを教えることでは、ずいぶん異なる。」「子供たちに興味を持ってもらいながら、3Rの知識をわかりやすく教えて正しい理解を身につけてもらうことは、なかなか難しい。」といった声も聞かれます。

こうした意見を踏まえ、このたび経済産業省では（財）クリーン・ジャパン・センターへの委託により「3R（リデュース・リユース・リサイクル）講師マニュアル」を作成しました。

このマニュアルが、これから3Rの出前授業を行ってみたいと考えておられる皆様のご参考となれば幸いです。

また、マニュアルの作成に当たり、内容に関するご指導や、学習指導案掲載のご快諾をいただいた教育関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

このマニュアルは、平成20年度経済産業省委託「事業者による3R教育推進システム実態調査事業」の一環で製作したものです。

目 次

1. 講師依頼を受けた時に確認すること	1
2. 学校・先生との事前打合わせ	2
3. 事前の準備	3
4. 授業を行うときのポイント	6
5. 3R講師の紹介制度について	10
6. 財団法人クリーン・ジャパン・センターの3R学習支援ツールについて	13
＜参考資料＞	
環境・3R授業に関する学習指導案の例	17

1. 講師依頼を受けた時に確認すること

◆学校等から3R出前授業の講師依頼を受けた際には、最初に以下の事項を確認しましょう。

(1) 授業を受ける児童・生徒の学年

小学生・中学生・高校生の別、または学年の違いによって教える内容や教え方は全く変わってきます。

(2) 授業を受ける児童・生徒の人数

教室で少人数の児童・生徒を対象とする場合と、体育館、公民館等の大きな会場で多数の児童・生徒を対象とする場合では、授業のやり方が異なります。

(3) 授業の時間

担当する時間を確認し、時間がオーバーしないように授業のプランを考えます。

(4) 使用できる機材

会場で使用できる機材類（黒板、マイク、DVDプレーヤー、OHP、パソコン、プロジェクター等）について確認します。また、パソコンを使ってプレゼンテーションを行う場合、次の点も確認します。

○講師が自分のパソコンを持参するのか、学校・会場側で用意するのか。

○自分のパソコンを使う場合は、会場の機器（プロジェクター等）が不具合無く使えることをあらかじめ確認しておく。

○会場のパソコンを使用する場合は、早めにデータを送付して問題なく再生できることを確認しておく。

2. 学校・先生との事前打合わせ

◆出前授業を担当することが決まったら、依頼元の学校・先生と事前打ち合わせを行います。事前打ち合わせでは、主に以下の事項について確認・相談することが重要です。

(1) 科目・単元の確認

環境・廃棄物・資源・3Rの問題を扱う科目は、社会科・理科・生活科・家庭科・道徳・総合的な学習の時間等、多岐にわたります。

依頼された出前授業は、どの教科の、どのような単元に関して行われるのかを確認します。

(2) 学習指導案を踏まえた授業プランづくり

授業内容について先生が具体的な学習指導案*を作成している場合は、指導案の内容をよく理解し、これを踏まえた出前授業のプランづくりについて打ち合わせます。

※このマニュアルには、参考資料として環境・3R授業の指導案の実例を掲載しています(17ページ~)。授業プランを作る際の参考にお役立て下さい。

(3) 児童・生徒の理解度について

授業を受ける児童・生徒は、3Rについてどこまで理解しているのかを確認します。

(4) 使用する教材等の確認

出前授業で使う教材(フリップ、ビデオ、パワーポイント等)の内容について、事前に先生に確認してもらいます。

(5) その他要望事項の確認

その他、先生が出前講師に要望する事項について、事前に伺っておきます。

3. 事前の準備

◆出前授業の事前準備としては、以下の事項が挙げられます。

(1) 授業プランの作成

先生との打ち合わせや指導案を踏まえて授業の進行プランを作成し、先生に確認してもらいます。授業プランのまとめ方の例を下記に示します。

- テーマ:ごみ問題から3Rへ
- 対象:〇〇小学校4年生 50名
- 場所:体育館
- 時間:45分(14:00~14:45)
- ねらい:ごみを減らして限りある資源を大切に使うために、3Rが必要であることを理解させる。

時間配分	学習事項とキーワード	内容	指導上のポイント	準備する物
導入 10分	①ごみ問題 大量生産・大量消費・大量廃棄の結果、大量のごみの発生 ②資源の枯渇 資源は有限。使い捨てではいずれ枯渇する	【クイズ】 ・1人1日あたりのごみの排出量 ・最終処分場の残余年数 ・石油の可採年数	・興味を持たせる ・石油が無くなった生活を想像させる	クイズ用紙 最終処分場の写真
展開 30分	①ごみを減らし、資源を節約する方法が必要→リサイクル ②ごみの分別体験 ③リサイクルで何に生まれ変わる？ ④1Rから3Rへ	・循環型社会の物の流れをフリップで確認 ・グループで分別作業 ・容器包装教材でリサイクルの流れを確認 ・再生品を購入でリサイクルの輪が完結する ・リデュース・リユースとはどんなことか ・3Rの中でリデュースが最優先であること	・ごみと思っていたものが実は資源になることを理解させる ・地域の分別ルール確認 ・分別後のリサイクルを意識付ける ・再生品購入の動機付け ・リサイクルだけでは十分でないことを理解	用語フリップ 識別マークフリップ 容器包装教材 環境ラベルフリップ
まとめ 5分	3Rを実行しようーアクションへつなげる	生活の場面でできる3R(例:家庭で、スーパーで、学校で)	3Rへの動機付け	

授業プランの例

(2) レジメの作成

配布するレジメには、簡潔に要点だけを記載します。また、児童・生徒が余白にポイントをメモできるようにしておきます。

また、学年によっては習っていない漢字がありますので、用語の漢字を適宜ひらがなに置き換えることも必要です。

(3) 視覚に訴える教材の用意

授業の際には、視覚に訴える教材（フリップ、写真、紙芝居、ビデオ、DVD、パワーポイント、リサイクル製品の実物サンプル、等）を使うと効果的です。

経済産業省の3R政策ホームページには「ごみイラスト素材集」が掲載されています。くらしの中の様々な使用済み製品やごみのイラスト(著作権フリー)がダウンロードでき、フリップやパワーポイントのスライド製作に活用いただけます。

経済産業省3R政策ホームページ「ごみイラスト素材集」の例

また、同ホームページでは、小中学生等を対象に、資源・廃棄物問題と3Rの大切さ、3Rを進めるために私たちにできることについて人形アニメと実写映像で楽しく説明したムービーファイル「レッツゴー3R」がダウンロードできます（Windows Media 形式と Real Player 形式の2種類）。あわせてご活用下さい。

* 経済産業省3R政策ホームページのアドレスは <http://www.meti.go.jp/policy/recycle/> です。または検索エンジンで「経産省 3R政策」と入力して下さい。



3R普及啓発用映像「レッツゴー3R」

4. 授業を行うときのポイント

◆出前授業当日に留意するポイントとしては、以下の事項が挙げられます。

(1) 話し方のポイント

授業では、あまり色々なことを一挙に説明しようとせず、最も伝えたいことにしぼって話をするのがコツです。また、「導入→展開→まとめ」といった授業全体の流れと時間配分に留意し、予定時間をオーバーしないように注意します。

(2) 授業の中で使う用語について

授業の中で用いる環境関連用語や専門用語は、児童・生徒の学年に応じて適宜意味を補足説明したり、分かりやすい言葉に言い換えます。

(財)クリーン・ジャパン・センターの「環境リサイクル学習ホームページ」(小学生編・中学生編)には、主要な環境・廃棄物・3R関連用語について、小学生・中学生それぞれのレベルに合わせて意味を説明した用語集がありますのでご活用下さい。



小学生のための
環境リサイクル学習ホームページ

ホームへ
| 質問コーナー | わからないことば | 国からのお知らせ | リサイクル集 | このサイトの地図 |

リサイクル(3R)は じゅんかん型社会の合い言葉	しげんとかんきょうが たいへんだ!	リサイクル(3R)と ごみの問題とについて	かんきょう問題と リサイクル(3R)について	海外の状況
-----------------------------	----------------------	--------------------------	---------------------------	-------

わからないことば

サーマルリサイクル

廃棄物(はいきぶつ)などをやすときに生まれるエネルギーを回しゅうして、うまく生かすこと。

再資源化

使い終わったせい品、入れもの、廃棄物(はいきぶつ)をもう一度使ったり、新しいせい品の原料として使えるように処理(しょり)すること。リサイクル。再生利用。

最終しょ分

ごみをじかに、または焼いたりして残ったはいを最終しょ分場にうめ立てること。

環境リサイクル学習ホームページ(小学生編)の用語集

リサイクル(3R)は
循環型社会の合い言葉

資源・環境SOS!

リサイクル(3R)と
ごみの問題について

環境問題と
リサイクル(3R)について

海外の状況



(用語集)

化石(かせき)燃料

古代生物・植物の死がい(がい)が地層中に堆積し、長年の地層中の圧力によって石油や石炭、天然ガス等の炭素質の燃料に変化したもの。

▲いちばん上に戻る

可燃(かねん)ごみ

家庭から排出されるごみのうち、清掃工場の焼却炉(しょうきゃくろ)等で焼却処理が可能なものを可燃ごみという。

カレット

使用後のガラスびんを回収し、破碎(はさい)して、細かい破片状(はへんじょう)にしたものをカレットと呼ぶ。カレットはガラスびんの原料等にリサイクルされる。

環境リサイクル学習ホームページ(中学生編)の用語集

(3) 対話型・参加型・体験型の授業が効果的

講師が一方向的に話すのではなく、児童・生徒と対話しながら進める授業、クイズやゲーム、ワークシートによって児童・生徒が参加できる授業、さらには3Rに関する行動を実際に行ってみる体験型の授業が効果的です。

次ページに教室でできる体験型学習やゲームの例を示します。



【ごみの分別体験】（所要時間：15分）

- ねらい：そのまま捨てればごみだが、分ければ資源になることを体験
- 対象：小学4年生
- 準備：地域の分別ルールに応じたごみのサンプルを用意し、グループごとにレジ袋に入れて分けておく。
（用意するものの例）
 - ・PETボトル、牛乳パック、菓子の箱、アルミ缶、スチール缶、ガラスびん、発泡スチロールトレイ等（資源ごみ）
 - ・ティッシュペーパー、プリンカップ、総菜の容器、ラップ等（可燃ごみ）
 - ・アルミホイル、割れた茶碗等（不燃ごみ）
- 児童に行ってもらふこと：
 - ・識別マークを見ながら正しく分別する
 - ・ごみの減容化（つぶす、たたむ）

【缶の素材当てゲーム】（所要時間：5分）

- ねらい：缶が何でできているのか、素材への興味をかき立て、識別マークの必要性を理解させる。
- 対象：小学3年生
- 準備：アルミ缶・スチール缶の側面を黒い紙で覆い見えないようにし、片方に印をつけておく。
- 児童に行ってもらふこと：
両方の缶を持ち、どちらがアルミ缶で、どちらがスチール缶か当てる。

【ティッシュのブラインドテスト】（所要時間：5分）

- ねらい：再生パルプティッシュとバージンパルプ100%のティッシュでは、品質の違いはさほど大きくないことを確認して、環境に配慮した商品選択について考えさせる。
- 対象：小学生以上
- 準備：再生パルプティッシュとバージンパルプ100%のティッシュの箱を同じ紙で覆い見えないようにし、片方のティッシュにはインクなどの印をつけておく
- 児童に行ってもらふこと：
両方のティッシュを取り、インクのついていない方は再生紙かバージンパルプ100%かを当てる。

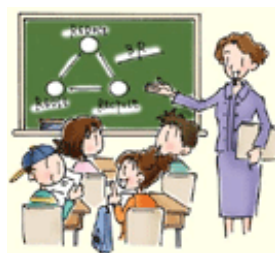
教室でできる体験型学習やゲームの例

(4) 授業の最後には「まとめ」を

授業の最後には必ず「まとめ」を行い、要点をもう一度おさらいします。また、児童・生徒の質問に答える時間も十分取っておきます。

(5) 先生との役割分担が大切

出前授業を行う際の心構えとしては、出前講師が一から十まで授業の全てを行うのではなく、先生との役割分担を決めて、先生とゲストティーチャーが共同で授業を行うことが大切です。



5. 3R講師の紹介制度について

◆これから3R講師を始めたいという方は、自治体等の講師紹介制度を活用することが早道です。

最近、地方自治体等では、環境・3R講師の登録・紹介制度を設けるようになりました。これから3R講師を行ってみたいという方は、これらの紹介制度に登録して学校等からの依頼を待つのが早道です。

(財)クリーン・ジャパン・センターの「3R学習支援ホームページ」では、主な自治体や3R推進団体の講師紹介制度のリンク集を公開しています(平成21年3月現在、同ホームページに掲載している自治体の講師紹介制度の一覧は次ページを参照)。


なお、新規登録の有無や登録の条件(一定の講習を受けて合格すること、等)は、各制度の実施主体に直接確認して下さい。

3R学習支援ホームページ

3R講師紹介

3R学習支援 > 3R講師紹介

小・中学校等におけるリサイクル(3R)学習のために、学校等で実際に授業を行うことができる講師を紹介しています。

			
3R講師紹介	3R推進団体の講師紹介	地方自治体の講師制度紹介	その他
旧経済産業省委託事業で活躍の皆さんです。	多くの3R推進団体では要請に応え、その団体で取り扱っている商品等のリサイクル(3R)に関して、学校等を訪問し、出前講座をおこなっています。	多くの地方自治体では環境学習の講師を紹介・派遣する制度が設けられています。また、このような制度がない場合でも最寄りの清掃・リサイクル部署で対応して頂ける場合もあります。	(準備中です)

3R学習支援ホームページの3R講師紹介コーナー

*アクセスは検索エンジンで「3R学習支援」と入力して下さい。

	制度の名称	URL
千葉県	千葉県環境学習アドバイザー制度	http://www.ckz.jp/keihatu/adviser/index.html
新潟県	環境にやさしい買い物運動出前講座	http://www.pref.niigata.jp/seikatsukankyo/kenminseikatsu/gomi/index.html
石川県	(社)いしかわ環境パートナーシップ 県民会議→講師派遣	http://www.eco-partner.net/shien/index.htm#koushi
山梨県	環境アドバイザー派遣制度	http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/junkan/49755356979.html
愛知県	あいちエコカレッジネット→ 人材情報	http://www.aichi-ecocollege.net/003/003-1.html
滋賀県	エコロシーガ	http://www.ecoloshiga.jp/
奈良県	エコなら→環境アドバイザー・どこでも エコ教室	http://www.eco.pref.nara.jp/adviser/index.html
和歌山県	環境学習アドバイザー派遣事業	http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032000/gakusyu/advise/advise.html
鳥取県	出前説明会	http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=23591
島根県	しまね環境アドバイザー制度	http://www.pref.shimane.lg.jp/kankyo/education/index.html#kankyo_adviser
岡山県	おかやまの環境→ 県の環境アドバイザー	http://kankyo.pref.okayama.jp/kankyo/home/menu04.jsp
広島県	ひろしま地球環境フォーラム→ 環境学習サポート情報	http://www1a.biglobe.ne.jp/ecoforum/gakusyu/suport0.htm
山口県	環境学習・パートナーシップ→ 環境学習ネットワーク	http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/study/network/network_group.htm
徳島県	とくしまの環境→ アドバイザー通信	http://our.pref.tokushima.jp/kankyo/ad_gaiyou.php
香川県	香川の環境→ 環境学習支援ネットワーク	http://www.pref.kagawa.jp/kankyo/gakushu/network/index.htm
愛媛県	環境マイスター	http://www.pref.ehime.jp/kankyou/k-hp/meister/index.html
高知県	環境活動リーダー	http://www.pref.kochi.jp/~junkan/leader/leadertop.html
佐賀県	うるおい佐賀→ 環境サポーターの概要	http://www.uruoi-saga.org/supporter-gaiyou.html
長崎県	ながさきの環境ホームページ→ 環境アドバイザー制度	http://www.pref.nagasaki.jp/kankyo/education/advisor/advisor_index.html
熊本県	熊本県環境センター→ 環境センターの利用→ 環境教育指導者派遣	http://www.kumamoto-eco.jp/kankyocenter.html
大分県	環境教育アドバイザーの派遣申請	http://www.pref.oita.jp/13000/haken/
宮崎県	みやざきの環境→ 環境保全アドバイザー	http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/e_tatu/adviser/index.html
鹿児島県	環境学習アドバイザー派遣	http://www.pref.kagoshima.jp/kurashi-kankyo/kankyo/sougou/gakusyu/index.html
沖縄県	ごみ減量・リサイクル講座	http://www.pref.okinawa.jp/kankyoseibi/kaimono/kaimono.htm

地方自治体の環境・3R講師紹介制度の例（都道府県）

（平成21年3月現在、3R学習支援ホームページに掲載しているもの）

	制度の名称	URL
札幌市	札幌市環境プラザ→ 環境教育リーダー派遣	http://www.kankyo.sl-plaza.jp/sapenvweb/show/plaza/jinzai/leader_index.htm
仙台市	ワケルネット→ アメニティ・せんだい推進協議会→ みんなですすめよう！3R講師派遣 事業	http://www.gomi100.com/ameni/108.php
千葉市	生ごみ資源化アドバイザー派遣事業	http://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyokanri/recycle/k-adviser.html
横浜市	G30サポーター(ボランティア)	http://www.city.yokohama.jp/me/pcpb/g30/gyo/g30_supporter.html
静岡市	静岡県環境学習コーディネーター	http://www.pref.shizuoka.jp/kankyoku/ka-030/coordinator.html
浜松市	市民活動→ 環境	http://nw01.city.hamamatsu.shizuoka.jp/lifeindex/study/climate/index.htm
堺市	どこでもセミナー→ 環境	http://www.city.sakai.osaka.jp/kyoiku/_syougai/_suishin/dokodemo/seminar.html#kankyo
神戸市	(財)ひょうご環境創造協会→ 講師等の紹介	http://www.eco-hyogo.jp/menu/irai_03.html
北九州市	北九州市環境ミュージアム→ 環境学習サポーター	http://www.qbiz.ne.jp/museum/supporter/index.html
福岡市	福岡市の環境→講師人材情報	http://kankyo.city.fukuoka.lg.jp/study/jinzai/index.html

地方自治体の環境・3R講師紹介制度の例（政令指定都市）

（平成21年3月現在、3R学習支援ホームページに掲載しているもの）

6. 財団法人クリーン・ジャパン・センターの 3R学習支援ツールについて

◆財団法人クリーン・ジャパン・センターでは、子供たちの3R学習に役立つ様々なツールの貸し出し・提供を行っています。これらのツールを活用することで、一層効果的な3R授業を行うことができます。

(1) 容器包装リサイクル教材（貸し出し）

8品目の容器包装（飲料用紙容器、段ボール、紙製容器包装、プラスチック製容器包装、PETボトル、アルミ缶、スチール缶、ガラスびん）を対象に、それらが生産されてから消費・廃棄・リサイクルされるまでの一連の流れについて実物のサンプルを見て学べる教材です。

この教材を使って、次のような事を学習できます。

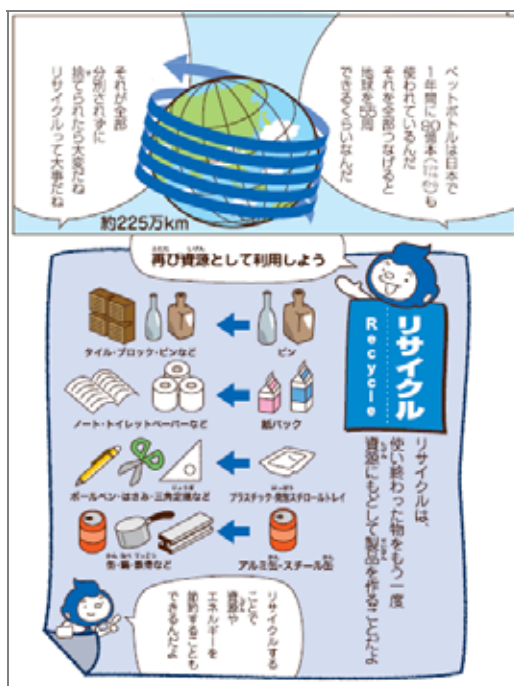
- 容器包装をはじめとする身の回りの製品は、それぞれどのような天然資源から作られているのか？
- それらの天然資源には限りがあり、3Rで限りある資源を大事に使う必要があること。
- 使用済容器包装が新しい製品にリサイクルされるプロセスを理解し、使用済容器包装を天然資源の代わりに製品の原材料として使うためには、きちんと分別したり洗浄することが大切であること。
- 使用済容器包装がどのような製品に生まれ変わるのかを学び、リサイクルを進めるためには、それらのリサイクル製品を積極的に選んで使うことが大切であること。等



容器包装リサイクル教材

(2) まんが冊子「3R (スリーアール)」

主に小学校高学年を対象に、3Rの大切さや、3Rを進めるためには何をすればよいのかを、まんがで分かりやすく説明した冊子です。総合的な学習の時間をはじめ、さまざまな学習にご利用いただけます (A5版 カラー 16ページ)。



まんが冊子「3R (スリーアール)」

(3) 環境リサイクル学習ホームページ（小学生向け、中学生向け）

小学生・中学生を対象に、廃棄物・資源・エネルギー・環境問題や3Rを通じた循環型社会について、分かりやすく解説したホームページです。

児童・生徒自身の3R学習の他、3R講師の皆様が出前授業のレジメやフリップ等を作る際の素材としても活用いただけます。

*アクセスは検索エンジンで「環境リサイクル学習ホームページ」と入力して下さい。



環境リサイクル学習ホームページ（小学生編）



環境リサイクル学習ホームページ（中学生編）

（４）３Ｒ学習に役立つホームページ・資料のリンク集

「３Ｒ情報交流ホームページ」（運営：リデュース・リユース・リサイクル推進協議会）では、国・地方自治体等が開設している環境・３Ｒ学習に役立つホームページや資料等のリンク集を公開しています。

* アクセスは検索エンジンで「３Ｒ情報交流ホームページ」と入力して下さい。

The image shows two screenshots of the '3R Information Exchange Home Page'. The top screenshot displays the '3R Learning' section with links to various resources for middle and elementary school students, and a list of prefectures. The bottom screenshot displays the 'Pamphlets/Textbooks' section with links to national resources, including handbooks, policy materials, and specific guides on recycling laws and food waste.

3R関連資料を探す

3R学習

- (財)クリーン・ジャパン・センター 環境リサイクル学習ホームページ≫中学生
- (財)クリーン・ジャパン・センター 環境リサイクル学習ホームページ≫小学生
- (財)クリーン・ジャパン・センター 3R政策学習支援ホームページ≫3R講師紹介
- (財)クリーン・ジャパン・センター 3R政策学習支援ホームページ≫3R体験事業所紹介

都道府県

- 北海道 循環型社会入門
- 青森県 エコナビ・あおも
- 岩手県 イワテガボガボ
- 宮城県 みやぎ環境学習
- 新潟県 リサイクルってな
- 福島県 環境教育・学習
- 茨城県 環境学習
- 栃木県 TES とちぎ 環境
- 群馬県 みんなの環境研
- 東京都 3Rキッズページ

3R関連資料を探す

パンフレット・教材

国

- 内閣府 国民生活局≫「エコライフ・ハンドブック2008」
- 経済産業省 3R政策≫資料を探す≫パンフレット
- 経済産業省 自動車リサイクル法≫パンフレット・チラシ
- 経済産業省 特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)≫資料集≫パンフレット・チラシのダウンロード
- 国土交通省 建設リサイクル≫「建設リサイクルの基本方針」
- 環境省 「環境白書・循環型社会白書」

3R活動団体

- (財)食品産業センター 環境≫循環型社会をつくるための法体系≫食品リサイクル法≫パンフレット(PDF)≫「食品関連事業者のための食品リサイクル法」
- (社)プラスチック処理促進 株式会社 ≫「プラスチックリサイクルの基礎知識」

▲ホームページのリンク集

▲パンフレット・教材のリンク集

<クリーン・ジャパン・センターの３Ｒ学習支援ツールに関するお問い合わせは>

〒107-0052

東京都港区赤坂1-9-20 第16興和ビル北館6階

財団法人クリーン・ジャパン・センター

電話：03-6229-1031 FAX：03-6229-1243

＜参考資料＞

環境・3R授業に関する学習指導案の例


- 小学校4年生「もったいない活動」の学習〔社会・総合・学級(含食育)〕
- えどがわエコセンター出前授業「もったいない」ってなあに？
- えどがわエコセンター出前授業「わたしのエコライフ」
- えどがわエコセンター出前授業「エコ・クッキングはどうしたらできるの？」

(提供：特定非営利活動法人えどがわエコセンター 理事 倉内皓子 氏)

春江小学校4年生「もったいない活動」の学習 {社会・総合・学級(含食育)}

	教科	学習内容	時数
一 学 期	社会	<p>すみよいくらしをつくる</p> <p>1・水はどこから (水の供給・節約) 2・ごみの処理とゆくえ (種類・量・埋め立て地)</p>	5
	学級	<p>私たちに出来ること</p> <p>1・水を大切に使う 2・ごみの処理の工夫 (3R) 3・エコ新聞発行 (水の節約・ごみを減らす)</p>	2
二 学 期	総合	<p>1学期の学習から環境学習 (エコロジー活動へ)</p> <p>1・「3R」について振り返る 2・私たちにできる「R」について深める 3・省エネ、無駄、ごみの内容などから「もったいない」を感じさせる 4・エコチャレンジ (表示板作成) えどがわエコセンター 5・エコクラブ活動参加 環境省 6・「もったいない」ってなあに? えどがわエコセンター出前授業 ワンガリー・マータイさんの「もったいない」</p>	6
三 学 期	総合	<p>食生活のエコ活動 食育と兼ねて</p> <p>1・給食の残菜量を知る (学級・学校) 2・世界の食料状況を調べる 3・もったいない (食物の大切さ) 4・残さない (ごみを出さない) 発展 エコクッキング</p>	3
	学級	<p>私たちに出来ること (エコチャレンジを振り返る)</p> <p>1・給食を残さない 区教育研究会給食部研究授業 2・残菜処理の無駄 3・食べることは命をいただき、自分の命をつなぐこと 4・エコ新聞発行 5・我が家のエコ料理</p>	3

- (1) 題材 「もったいない」ってなあに？
 (2) ねらい 「もったいない」という気持ちをもって、自分の生活を振り返り、そのことを実行しようとする心情を育てる。
 (3) 展開

	児童の活動		教師の指導と評価
5	1・今日は「もったいない」ってなあに？の学習をします。 ★記録用紙を配る（あらかじめ配っておく）	T1	○ これまでの学習を振り返り「もったいない」の学習につなげる。 ○ 自己紹介で「出前授業」の意義と役割を理解させる。
	2・「もったいない運動えどがわ」を進めているえどがわエコセンターのみなさんを紹介します。 ★自己紹介をする。	T1	
	3・それでは、「もったいない」とはどんなことかお話を伺います。	T1	
8	4・「もったいない」という言葉を世界共通語にした方がいます。 ビデオで紹介します。★要点を視聴する。	T2	○ 日本語の「もったいない」が世界共通語になった訳を理解させる。
10	5・4クラスに別れて、「もったいない」をさらに詳しく学んでみましょう。 ★クラスごとに分かれて自由に話し合います。	T1	○ あらかじめ学級表示を体育館にしておく。
7	6・自分で考えた「もったいない」を発表しましょう。	T2	○ 意見が出やすいように、T1・T2が説明・支援をする。
	 <div data-bbox="542 1361 941 1518" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ふだんの生活をふりかえってみると、「もったいない」ことがたくさんあるんですね。 </div>		○ 考えたことをメモさせる。 ○ 全体会で発表できるように、発表児童を決める。 ○ カレンダー等の裏紙に発表の要点を書かせ
5	7・はじめの全体の学習にもどり、自分で考えた「もったいない」をみんなの前で伝えましょう。 ★学年全体の隊形にもどり発表する。	T1 T2	評価基準 自分の生活を振り返って、「もったいない」を考えることができる。
10	8・「もったいない」にかかわる「ごみ分別・マイバッグ・ふろしき」の実際をまなびましょう。 ★エコセンターの代表事例を紹介する。		
3	9・エコセンターの「もったいない運動交流会区民大会」について聞きましょう。	T1	
2	10・まとめとおわりの話	T2 T1	
			次時について予告する。

(1) 題材 わたしのエコライフ

(2) ねらい



- 1、ごみの分け方や出し方を調べ、江戸川区の新しい分別について理解する。
- 2、ごみや不用品をへらすための工夫について考え、そのことを実行しようとする心情を育てる。
- 3、3Rについて、その意味を学び、日常生活にいかそうとする意欲を育てる
- 4、魔法の布、風呂敷の活用を通してエコライフの楽しみを工夫する

連絡事項

- 1・ 倉内 皓子
- 2・ 学校には11月28日(金) 午前10:20着
- 3・ 児童は家庭科ノートとバンダナ
- 4・ 5年1組 35名
- 5・ 紙芝居・ごみグッズ・風呂敷

(3) 展開

指導時間	学習進行案		指導と評価
10:45 10分	1. 「身の回りをきれいにしよう」で学んだことの復習をします。 ★これまで学んだことを児童から引き出す。	小林T	○この単元で学んだことを復習する。
10:55 5分	2. 今日は「えどがわエコセンター」の皆さんに来てもらい出前授業をしてもらうことになりました。 ★ 自己紹介をセンター職員で		○エコセンター・自己紹介
11:00 5分	3. 江戸川区のごみの分け方について確認します。 ★ 表で確認します		

展開	11:05 20分	4・このことをさらに分かりやすくするために、 「ごみ分別輪投げゲーム」をします。 ★ 児童の中に入って支援する。	○ 全員が体験をする。
	11:25 10分	5・ごみを減らすためにどんな工夫をしているか 話し合しましょう。 ★ 減らす ★ 活用する ★ 節約する	○ 班に分かれて意見を出せるよ うに担任・専科の先生方が支 援する。 
	11:35 10分	6・3つのRについてお話します。 ★ Reduce (減らす) ★ Reuse (再利用) ★ Recycle (再生する)	
	11:45 15分	7・風呂敷講座をします。	○児童バンダナ活用
ま と め	12:00 5分	8・まとめをします。 ★ もったいない運動えどがわ	○紙芝居でまとめをする。
	12:05 5分		評価
	12:10	9・終わりの挨拶をします。	ごみの新しい分別法を理解し、不 用になった物を生かすことを考 えることができる。 エコライフの工夫をすることが 出来る

児童の様子にて、休憩や少し短縮が出来るかと思います。

(1) 題材 エコ・クッキングはどうしたらできるの？

(2) ねらい

1、エコ・クッキングの意義を理解する態度を育てる・環境のことを考えて買い物、料理、かたづけをします

2、エコ・クッキングを通して食べ物とエネルギーのかかわりを考え、実行しようとする心情を育てる。

* 身じたく、かん気をチェックします

* 食材をむだ無く活用します

* 自分で食事を作ってみよう

連絡事項

1・ 倉内 皓子 竹重 真紀子

2・ 学校には午前9:00に到着

3・ 児童は家庭科ノートとバンダナ、ハンドタオル

4・ 5年1組 名 5年2組 名

5・ 食材・エコ・クッキングノート・ごみ減量は台所からを持参

(3) 展開

指導時間	学習進行案	分担と備考	指導と評価
導 入	10:45 10分	鈴木T	
	10:55 5分	鈴木T エコセンタ ー・自己紹介	

	11:00 5分	3・エコ・クッキングって何だろう？ ★ エコ・クッキングノートで確認します	倉内 P2～P11	
展 開	11:05 5分	4・身じたく、かん気をチェックします ★ 児童の中に入って支援する	指導者全員	○ 全員が体験をする
	11:10 5分	5・包丁の持ち方、エコな野菜の切り方考えます	倉内 P15	
	11:15 30分	6・イタリアンたまごスープを調理します 7・ピザのトッピングをします	竹重	☘ ☘
	11:45 20分	8・食材をむだ無く使い切ります 9・実食します	鈴木T	
ま と め	12:05 10分	10・まとめをします。	竹重	○まとめをする。☘☘
	12:15 5分	11・エコ・パワーアップ作戦 ★ 表を使って 12・終わりの挨拶をします。	倉内 鈴木T	P34 ○ 児童が意見を出せるように支援する。 評価 エコ・クッキングの意義を理解し実行しようとする

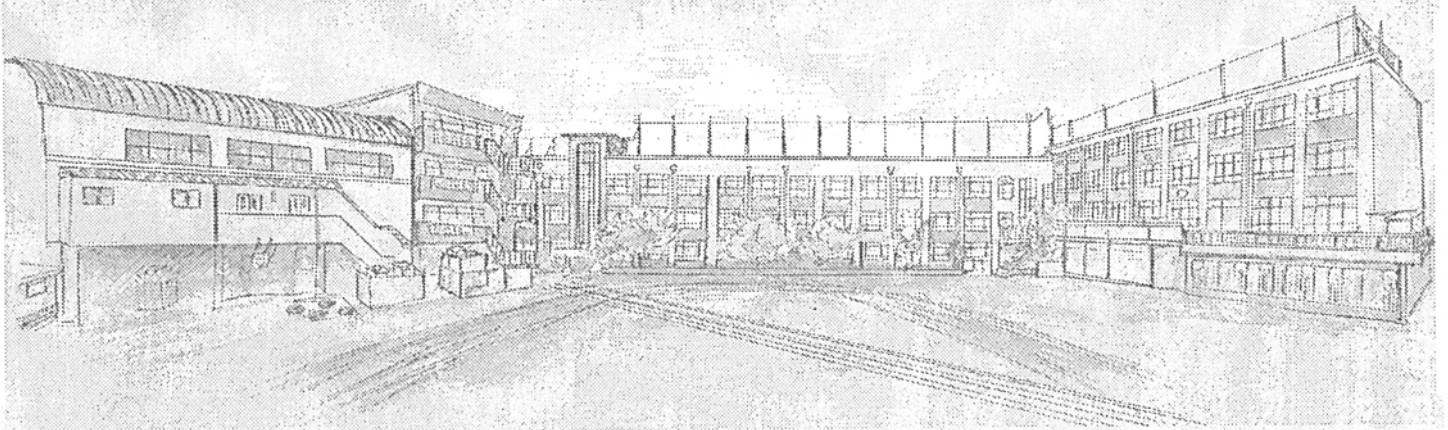
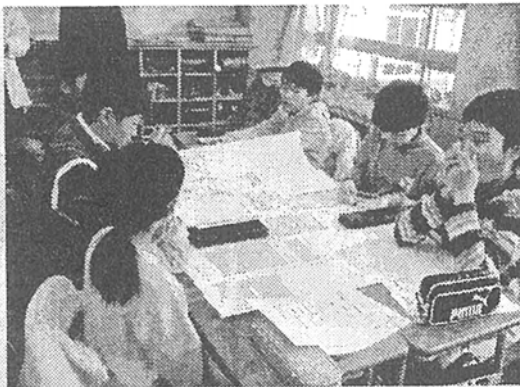
児童の様子にて、休憩や少し短縮が出来るかと思います。

生きる力を培う環境教育

～持続可能な社会の実現を目指して～

—保護者・地域・企業・NPO・官公庁等とともに進める環境教育—

学 習 指 導 案



～一人一人を大切にする開かれた特色ある学校の創造～

生き生き 伸び伸び

一人一人の子どもが光り輝く



新宿区立市谷小学校

第1学年 生活科学学習指導案

日時 平成21年2月14日(土)

9:55~11:30

学級 新宿区立市谷小学校1年1・2・3組

授業者 1年 1組担任 大澄 美香

1年 2組担任 相澤 友希

1年 3組担任 村上 珠子

1 単元名 「いっしょにあそぼう わくわくランド」—おみせやさんごっこをしよう—

2 単元の目標

- ・身の回りの自然や身近にある物を使って、遊びを楽しむ。(関心・意欲・態度)
- ・今までの学習を生かした遊びを考え、作ったり遊んだりする。(思考・表現)
- ・身の回りの自然物などを使って遊ぶ楽しさや、人々の良さに気付く。(気付き)

3 児童の実態

1年間を通して、校庭や弁天公園で季節探しを行い、同じ場所での変化を探すことによって、季節を感じ取り、自然物に興味をもてるようになってきた。木の実を使った工作では、ドングリロケットやドングリごまなどの遊びを考え、友だち同士楽しく遊ぶことができた。

昔遊びでは、お手玉、けん玉、こまなど名前は知っているが、できない児童が多かった。そこで、一人一人目標を立て、できるようになるまで遊んだり、地域の人に教わったりしてきた。どの子も上達してくるにつれ、どんどん興味をもち、お互いに教え合いながら遊ぶ姿が見られるようになってきた。この活動を通して先人の知恵にも気付かせたい。

4 研究主題との関連

本単元は、一年間の生活科における学習のまとめである。したがって以下の3点から研究主題に迫っていききたい。

- (1) 季節の変化を調べる学習やアサガオなどの栽培の学習をまとめ、クイズなどにより、環境と自分自身の生活や行為とのかかわりについて考えを深めさせたい。
- (2) 木の実を使った工作やゲームを考えることにより自然に親しみ、そのすばらしさを感じ得できる心を育てたい。
- (3) 地域の方々から教わった昔遊びや2年生に案内してもらった学校探検の経験を生かし今度は自ら友達に教える活動を行うことにより、友達とのかかわりを広げ、深めていきたい。

また、自分が一番関心をもち、友達や保護者に伝えたい事柄を選び、どのようなお店にして伝えていくか考えさせる。自分で考えたり、友達と協力したりする活動を通して、課題を解決する力や自分の思いを表現する力を培っていききたい。

5 本時の学習

(1) ねらい

- ・自然のものや身の回りにあるものを使うなどして遊び方を工夫したり、約束やルールを考えたりして、みんなで楽しく遊ぶことができる。
- ・お店やさんとお客さんに分かれて活動することを通して、自然物のよさや先人の知恵に気付くことができる。

(2) ねらいに迫るための具体的な手立て

- ・招待する人に応じた準備ができるように、ルールや場の設定を工夫する。
- ・子ども同士のかかわりを促すとともに、自分や友達の考えたお店の良さに気付くようにする。
- ・ゲストティーチャーによるネイチャーゲームのお店を出店し、関わることを通して、知的な気付きへと繋げる。

(3) 展開

学習内容・活動	○指導上の留意点△評価
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 家の人や地域の人を招待して、「わくわくランド」を楽しもう。 </div>	
1 本時のめあてを知り、活動への見通しをもつ。(はじめの会)	○活動の時間や役割を分かりやすく示すことで見通しをもたせ、自分たちで「わくわくランド」を進められるようにする。
2 グループごとにお店や作品の位置、案内係やゲーム係などの担当を確認する。	○友達のお店の良かったところを見つけてくることを確認する。
3 「いっしょにあそぼう わくわくランド」を開き、前半と後半に分かれて交代で遊ぶ。	○ゲストティーチャーによるお店を紹介し、遊びに行くように伝える。 ○お客に合わせて遊びのルールや難易度を変え、楽しんでもらえるように工夫している子どもの良さを称賛する。 △自分たちのお店を進んで紹介したり、友達のお店で一緒に遊んだりして、活動を楽しもうとしている。(関心・意欲・態度) △今までに学習してきたことを、自分たちで考えたお店を通して伝えることができる。(思考・表現)
4 活動を振り返る。(おわりの会) ・感想を発表する。	○製作活動や遊ぶ活動の楽しかった思いとともに、他のお店の良さや工夫に着目できるようにする。
5 ゲストティーチャーから、ネイチャーゲーム(自然と触れ合う遊び)を教わる。	○教わったネイチャーゲームをやってみたいという意欲をもたせる。 ○遊んだり、お店やさんをしたりすることを通して、子どもの良さを見取り、意味付け、価値付けを行う。
6 後片付けをきちんと行う。	△手作りのお店でお客や友達と一緒に遊ぶことの楽しさや、自他の良さに気付いている。(気付き)

第2学年 生活科学習指導案

日 時 平成21年2月14日(土)

9:55~11:30

学 級 新宿区立市谷小学校 2年 1・2組

授業者 2年1組担任 益子 みどり

2年2組担任 寺中 友紀

1 単元名 「おいでよ、おもちゃランドへ」—— おもちゃをつくってあそぼう ——

2 単元の目標

- ・ 身近にある物を使って、工夫しておもちゃをつくったり遊んだりする活動を通して、そのおもしろさや自然の不思議さ、自分や友達によさに気づき、みんなと楽しく遊んだり生活したりすることができる。
- ・ つくったおもちゃを使って、遊び方やルールを工夫し、みんなで楽しく遊ぶ活動を通して、身近な人々とかかわる楽しさが分かり、進んで交流することができる。

3 児童の実態

児童は、これまでに、「秋をさがそう」の単元で、近くの公園で集めてきたどんぐりや落ち葉を使って、秋の絵を描いたり、リースをつくったりしている。また、図画工作の時間に、空き箱を使って「2本の糸でスイスイ」という題材で遊ぶ物をつくった経験がある。しかし、日常生活の中では、自分で工夫しておもちゃをつくって遊ぶという経験はほとんどない。

4 研究主題との関連

本単元で育てたい力は、表現力と問題解決力、コミュニケーション能力である。

低学年の子どもにとっては、活動そのものが表現活動である。見る、調べる、作る、遊ぶなどの活動が楽しく意欲的にできる場を構成することが、生き生きとした表現活動へとつながっていく。さらに、自分がつくったおもちゃについて説明したり、友達のおもちゃのよさなどを話したりする活動を通して、自分の思いを表現する力を高めていきたい。

また、新学習指導要領の解説にあるように、本単元で特に大切にしたいのは、「比べる」「繰り返す」「試す」などの活動である。友達のおもちゃで遊びながら自分と友達のおもちゃを比べてその違いに気付いたり、何度か繰り返して作り直すうちによく動くようになっていく。また、つくる過程で試しに遊んでみることで問題点に気づき改善策を考えることになる。こうして、自分が思い描いたおもちゃを試行錯誤しながら作り上げることで、問題解決力を高めていきたい。

さらに、おもちゃランドでは、友達とのかかわり合いを通して、友達によさや自分との違いに気付いたり、相手の考えを尊重したりできる態度を身に付けさせるとともに、友達同士のコミュニケーション能力を高めていきたい。

5 本時の学習

(1) ねらい

- ・つくったおもちゃを使って友達と楽しく遊ぶことを通して、友達のつくったおもちゃのよいところや工夫したところに気付くことができる。

(2) ねらいに迫るための具体的な手立て

- ・自分がつくったおもちゃの工夫したところや遊び方などについて説明する場面を設定することで、友達のおもちゃのよさに気付けるようにする。
- ・おもちゃランドで遊んだ後に、友達のよいところや工夫しているところをカードに書く時間を設定する。

(3) 展開

学習内容・活動	○指導上の留意点 △評価
<p>おもちゃランドで、友だちのよいところを見つけよう！</p>	
<p>1 本時のめあてを知り、活動への見通しをもつ。</p>	<p>○本時の時程を掲示しておく。 ○遊びのコーナーや修理コーナーの場所を確認する。</p>
<p>2 前半・後半に分かれて、おもちゃランドで遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんが来たら自分のおもちゃの工夫したところや遊び方を説明する。 ・友達のおもちゃの説明をよく聞いてから遊ぶ。 	<p>○各コーナーを回って、説明の仕方や遊び方などのよい点をほめる。 ○途中でおもちゃがこわれた子や改良したい子には、修理コーナーに行かせ、支援をする。 ○全体に紹介したい友達のよさに気付いている児童や、説明をうなずきながら聞いたり質問したりしてコミュニケーションをとっている児童を把握しておく。 △自分のおもちゃについて説明することができる。(思考・表現)</p>
<p>3 友達のおもちゃのよいところや工夫しているところなどを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のおもちゃの材料・作り方・遊び方などのよいところや工夫しているところをカードに書く。 ・カードに書いたことを発表し合う。 	<p>○友達のおもちゃのよさや、説明の仕方のよさ、一緒に遊んで楽しかったことなどの中から、みんなに伝えたいことを書かせる。 ○教師や保護者が気付いた、子どもたちのおもちゃのよさを全体に紹介する。 △友達のよさに気付くことができる。(気付き)</p>
<p>4 新宿環境リサイクル活動の会の方々の話を聞く。</p>	<p>○児童のおもちゃのよいところについて話していただく。 ○楽しいおもちゃを紹介していただき、さらに関心を高める。</p>
<p>5 協力して後片付けをする。</p>	<p>○協力して後片付けをするように声を掛ける。</p>

第3学年 総合的な学習の時間学習指導案

日時 平成21年2月14日(土)

9:55~11:30

学級 新宿区立市谷小学校3年1・2・3組

授業者 3年 1組担任 白石 孝久

3年 2組担任 大町 昌子

3年 3組担任 飯村 真澄

1 単元名 「市谷のまち探検隊」 —もっと、すてきなまちにしよう—

2 単元の目標

- ・自分たちの生活の場である地域社会には、環境とかかわることが多くあることを知り、進んで課題解決しようとする態度を身に付ける。
- ・地域の人たちが、まちづくりの中で行っていることを調べ、課題をつかみ、解決しようとするができる。
- ・地域社会の自然や様々なできごとに対する環境的な見方や考え方をすることができる。

3 児童の実態

子ども達は「市谷のまち探検隊」の学習を4月から継続して取り組んでいる。「みんなの公園」では、子ども達の遊び場でもある「公園」を切り口にして、「調べ、観察する」活動を展開してきた。次の展開として神楽坂商店街を選んだ。地域の駅、掲示板、電柱、商店街そのものや商店街に流れる音楽等などに興味を示した。神楽坂の商店街のいろいろなお店やお寺、駅に行き、町のあり方、商店のゴミのゆくえについてインタビューを行い、人々の思いや願いを受け止めた。その結果を新聞にまとめてインタビューをした方々に見ていただいた。そして、「神楽坂街づくりの会」の方々と出会い、実際に行っている街づくりの活動の様子などのお話を聞き、交流の場を広げてきた。こうして「市谷のまち探検隊」活動を通して、子どもたちは、自分たちの住んでいる地域の生活のよりよい改善に向けて「思い、考え、聞く」の学習を進めている。

4 研究主題との関連

生活科の学習では、「まちたんけん」をしたり、お祭りに参加したりすることを通して地域に親しみ、地域のよさに気付いてきた。そこで総合的な学習の時間を通して、地域には、消防署、警察署、駅などの公共施設があり、人々の生活を支えていることに気付かせる。

そして、地域にあるお店やお寺など興味あるものを調べることを通して、課題を発見し、課題解決に向けて人々との関わりを深めることが、環境に働きかける実践力の育成につながると考えた。

5 本時の学習

(1) ねらい

- ・地域のたんけん活動をもとに獲得した「安全」「まちなみと人々」「エコ」という観点から調べて、考え、よりよい「まちづくり」について表現する。

(2) ねらいに迫るための具体的な手立て

- ・児童が調べてきた事を環境マップに表すことにより、課題をイメージできるようにした。
- ・児童一人ひとりの問題意識ごとに調べて、考え、分かりやすい発表ができるようにした。
- ・「街づくりの会」や地域の方々の提案、アドバイスを受ける場を設定した。

(3) 展開

学習内容・活動	○指導上の留意点△評価
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自分たちが考えたまちづくりについて提案しよう。</div>	
1 前時を振り返り、本時のめあて、及び活動への見通しをもつ。	○本時の学習について、見通しをもたせる。
2 課題別グループごとの発表の手順、方法を確認する。	
3 提案する。 (1) 安全(1組) まちなみと人々(2組)、エコ(3組)の観点から発表する。 (2) 質疑、応答、感想を話す。 (3) ゲストティーチャーからのアドバイスをいただく。	△自分たちの願いや思いを発表できたか。 △他グループの発表を聞き、活動への意欲が高められたか。 ○子どもたちの発表のよい点を認め、分かりやすいアドバイスをいただく。
4 提案を振り返る。	△ゲストティーチャーからいただいたアドバイスや他の班の発表から提案内容を見直すことができたか。
5 次時の学習内容を知る。	○アドバイスや発表から共通点、相違点を見付け、次時への意欲を高める。

第4学年 総合的な学習の時間学習指導案

日 時 平成21年2月14日(土)

9:55~11:30

学 級 新宿区立市谷小学校4年1・2・3組

授業者 4年 1組担任 牧岡優美子

4年 2組担任 丸山 歩

4年 3組担任 阿部 洋子

1 単元名 「エコライフ市谷」 一身近な生活のエコ活動を発表しよう一

2 単元の目標

- ・身近な生活の中から環境保全に役立つことをとらえ、課題を発見し、解決することができる。
- ・自分が選んだ課題について、新聞やパンフレット、インターネットなどの資料から情報を収集し、自分の考えをもつために役立てることができる。
- ・学習したことを生活に生かし、環境保全の意識をもった自分に気付くことができる。

3 児童の実態

第4学年の児童は、年間を通して環境学習「エコライフ市谷」に取り組んでおり、身近な生活の中から自分が続けていけるエコ活動の取り組みについて学習し、継続して行動に表していくことを目的に活動してきている。

児童は1学期に、自分にできる環境に優しい取り組みを3ヶ月間続けてみた。「みどりの小道・環境日記」の活動)2学期は、その中で自分が特に興味をもった課題について焦点を絞り、ゲストティーチャーと体験的な学習をしたり、さまざまな資料の中から調べ学習をしたりして、課題解決を図っている。

4 研究主題との関連

主題にある「生きる力を培う環境」を受け、第4学年は、1年間の環境学習を通して「環境を守るための行動を自然に行うことができる子」を目指す児童像とし、単元を設定した。また、「保護者・地域・企業・NPO」の協力を得て、それぞれの専門分野の取り組みを説明してもらったり、体験学習を通して学んだりできるように学習を計画した。

本単元では、ゲストティーチャーとの交流や体験学習を通して、身近な暮らしの中で自分たちにも取り組める活動を見付け、自分なりの課題を設定した。そして周囲の環境の状況やこれから必要となる環境保全を自分なりに調べ、まとめ、発表し合っ情報交換し合うことで、自分の考えを構築していき、改めて自分が環境とどのように関わっていくかという「生き方」を見つめる。その中で、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力を高め、生きる力につなげ、「持続可能な社会の実現」に迫っていくものである。

5 本時の学習

(1) ねらい

- ・自分たちが提案したいことを、表現方法を工夫しながら発表することができる。
- ・自分の考えを構築するために、友達の発表を聞くことができる。

(2) ねらいに迫るための具体的な手立て

- ・発表原稿には伝えるために必要な観点を、本時のワークシートには聞き取りの観点を明記し、児童の学習を支援する。
- ・これから環境保全のために、自分が取り組んでいけるエコ活動を見い出し、自分の考えをもつように指導してから発表を始める。

(3) 展開

学習内容・活動	○指導上の留意点 △評価規準
<p>1 学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>身近なくらしのエコ活動について 発表しよう</p> </div>	<p>○自分たちの課題がきちんと伝わるように意識させる。</p> <p>○他のグループの発表を生かして、最後に自分の考えをもつことを知らせる。</p>
<p>2 観点別グループの発表をし合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【課題別グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3Rチーム、・節水チーム ・動植物チーム・ゴミ分別チーム ・紙リサイクルチーム ・缶リサイクルチーム、 ・エコマークチーム ・ペットボトルリサイクルチーム </div>	<p>○発表するときは、自分たちが伝えたいことを強調して話すように意識させる。</p> <p>○聞き手は各グループのメッセージを受けとめ、メモを取るようにさせる。</p> <p>○各グループの発表が終了するごとに、気付いたことや感想を伝える時間を設定し、相互評価をさせる。</p> <p>△聞き手を意識して、伝わりやすく工夫して発表を行っている。（発表の様子を観察）</p> <p>△各グループの伝えたいことを聞き取り、自分の考えの参考にするためにメモしている。（ワークシートの書き込みを分析）</p>
<p>3 各グループの発表で聞いたことを生かして、自分の考えを書き、伝え合う。</p>	<p>○発表で聞いたことを振り返りながら、自分のこれからのエコ活動について考えを決めさせる。</p>
<p>4 本時の学習について参観者から評価してもらった後、自分の振り返りをする。</p>	<p>○これまでお世話になったゲストティーチャーから学習の評価を聞き、自分たちのよさに気付くとともに今後の課題にも気付かせる。</p>
<p>5 次時の学習を知る。</p>	

第5学年 総合的な学習の時間学習指導案

日 時 平成21年2月14日(土)

9:55~11:30

学 級 新宿区立市谷小学校5年1・2・3組

授業者 5年1組 担任 大森 千里

5年2組 担任 瀧 友宏

5年3組 担任 高田 和子

1 単元名 「市谷小環境フォーラム」

2 単元の目標

- ・発表会で家庭や地域に伝えることを通して、環境保全の重要性や解決へ向けての方策などについて進んで地域社会にかかわろうとする。
- ・これまでに行った体験や学習を生かして、環境問題の解決に向けての方策を考え、取り組むことができる。
- ・自然や社会の事象相互の関係などに着目しながら、環境にかかわる諸問題について多面的に考察することができる。

3 児童の実態

「みどりの小道」環境日記を実施する以前から、環境保護に対する関心は高く、環境に関する学習に意欲的に取り組んでいる。また、調べ学習では、課題を自宅に持ち帰り、発展的な内容を進んで調べる姿が見られた。

9月から10月に行ったKids' ISO14000では、毎日家庭の電気・ガス・水道の使用量やゴミの排出量を記録するとともに、家族が協力し合い省エネ作戦を立て実行するなど、家庭からの理解と協力に支えられながら、児童は実践を通して省エネの大切さについて感じ取ってきた。また、企業等の出前授業など一年を通して環境の学習をする中で、児童は省エネや環境保護の重要性を感じる事ができた。

11月には、それまでの学習成果を生かして、環境に対する自分の思いや考えを新聞に書いて他学年や家庭等に伝え環境保全に向けての協力を呼びかけた。この活動を通して、児童はたくさんの人たちが協力して環境問題の解決に取り組むことの大切さを学習した。

4 研究主題との関連

第5学年では一年間の環境教育を通して、「目的意識をもって学ぶ」「人とのかかわりの中で学ぶ」「社会にはたらきかけて学ぶ」という三点に配慮しながら指導を展開してきた。

本授業は、第5学年の環境に関する学習のまとめであり、学んだことを生かして家庭や地域、自治体や企業にはたらきかける場として設定した。社会の一員として自ら社会にはたらきかけ、社会を変えていこうとする態度は、持続可能な社会の実現にむけて、児童の身に付けさせたい重要な資質であると考えからである。

各グループの発表では、児童は自ら設定したテーマに沿って参会者に提言を行う。本時には、新聞社や自治体の方々に参加していただく。それぞれの立場から意見をいただき、「環境問題の解決に向けてどう取り組んでいったらいいのか」ということについて意見交換を行いながら、環境に対する見方や考え方を深め、自らの生き方を振り返ることをねらいとしている。

5 本時の学習

(1) ねらい

- ・発表を通して自分の思いや提言を参会者に伝えることができる。
- ・発表者の提言や参会者の意見を聞き、環境に対する見方や考え方を深めることができる。
- ・これまでの自分の生活を振り返るとともに異なった立場からの意見を聞くことをとじて、自分自身の生活の問題点や課題に気付くことができる。

(2) ねらいに迫るための具体的な手立て

- ・自分と異なる立場からの意見を聞くことで、児童のもつものの見方や考え方にゆさぶりをかけ、改めて自分たちの生活の問題をとらえるようにする。
- ・事象相互の因果関係を明確にした発表をすることで、地球上で起こっている様々な問題が、自分たちの生活と結びつきをもっていることに気付くようにする。
- ・観測データなど客観的な資料に基づいて現象の変化を予測させることを通して、環境問題解決に向けての取り組みの重要性をとらえさせるとともに、説得力をもった提言ができるようにする。
- ・新聞社や自治体の方々と質疑応答することで、環境に対する様々な見方や考え方があることに気付くようにする

(3) 展開

主な学習活動	○指導上の留意点 △評価
1 本時のめあてを知り、活動の見通しをもつ。	○発表するときと発表を聞くときの両方のめあてについて確認する。
市谷小環境フォーラムを開いて、家庭や地域、新聞社や行政の方々に環境についての自分たちの提言をしよう。	
2 グループごとにテーマに基づいて発表し、各グループの発表のあとに質疑応答の時間をもつ。 (1) 発表 (2) 質疑応答 (3) ゲストティーチャーからの話 <自然保護をテーマとするグループ> 6グループ 会場：5年1組教室 GT：小学校教諭 新聞 計2名 <省エネをテーマとするグループ> 6グループ 会場：5年2組教室 GT：新聞社 計1名 <3Rをテーマとするグループ> 4グループ 会場：5年3組教室 GT：自治体職員 新聞社 計2名	○以下の点について、しっかり伝えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・なぜそのテーマを設定したのか ・何が問題になっているのか ・問題の原因は何と考えるか ・解決に取り組まなければどんな事態になると考えるのか ・自分はどんな取り組みをするのか ・参会者にどんな取組を期待するのか ・マスコミや自治体の人にどんな取組を期待するのか △筋道立てて自分たちの提言をすることができたか。 ○一つのグループの発表が終わったら、聞き手の児童や参会者、ゲストティーチャーから意見や質問を受けさせる。質疑応答の進行は発表児童にさせる。 ○ゲストティーチャーからは、個々のグループの発表内容について、専門の立場から意見をいただく。 △友達の発表を聞いて気付いたことや考えたことを発表することができたか。
3 参会者からの意見を聞いて、気付いたことなどを記録し、自分たちの学習を振り返る。	○これまでの学習を振り返り、気付いたことや感じたことなどをワークシートに記入させる。 △自分の生活を振り返り、問題点や課題に気付いたか。 ○数名の児童に発表させる。

第6学年 総合的な学習の時間学習指導案

日 時 平成21年2月14日(土)

9:55～11:30

学 級 新宿区立市谷小学校6年1・2・3組

授業者 6年 1組担任 館山 恭

6年 2組担任 藤澤 優子

6年 3組担任 角田 直也

1 単元名 「新宿環境未来」 ―新宿の未来に向けた環境を発信しよう―

2 単元の目標

- ・世界の環境問題を一人ひとりの問題として受けとめ、課題解決に向けて実践していこうとすることができる。
- ・環境問題にかかわり、自分たちが住む新宿区の未来を考え、自分たちなりに解決することができる。
- ・新宿区の環境問題についての施策や工夫をとらえ、自分たちが暮らす新宿区の未来を考え、ものの見方、考え方を深め、拡げることができる。

3 児童の実態

地球温暖化、エネルギー問題など、どのような事実がおきているのかをゲストティーチャーから話を聞き、環境問題の現状に関心をもち、自分の身のまわりでもおきていることに気付いた。そこで、環境を身近な問題としてとらえ、自分に何ができるのかという意識が芽生えてきた。

また、外国の方を招いて、諸外国の事情を聞き、意見交換し、資料や新聞の記事から、企業の取り組みや各国の温室効果ガス削減など環境への政策がどのように行われようとしているのか調べ、振り返ってみた。

この学習を通して新宿に暮らす一人として、環境問題を自分の問題としてとらえようとしている。

4 研究主題との関連

持続可能な社会の実現に向け、新宿区の環境を守り、大切にしていくために世界の環境の事情を把握し、環境的な見方や考え方を深め、拡げようと考えた。

そこで、児童一人ひとりが最も課題であると考えた環境問題を明確にさせ、どのような政策がとられているのか、仮説を立て検証する活動を行った。その上で、今までの学習を振り返る場を設定した。このことにより、児童は自主的、自発的に学び、日々の生活をみつめ、新宿のよりよい環境対策のための提言を地域の一人として提言できるものである。

5 本時の学習

(1)ねらい

- ・新宿区や東京都、国の施策を調べ、具体的な対策をもとに、新宿区や企業に提言することができる。
- ・提言を通して、自らの生活の在り方や考え方を振り返ることができる。

(2)ねらいに迫るための具体的な手立て

- ・児童一人ひとりが関心をもった環境問題に対し、新宿区や企業の取り組みについて仮説を立て検証する活動を設定した。
- ・わたしたちが暮らす新宿の環境対策について、他の区や市などの取り組みと比較することで、環境問題への見方を深め、提言できるようにする。

(3)展開

学習内容・活動	○指導上の留意点△評価
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">私たちが暮らす新宿を守れ。</div>	
<p>1 グループごとに調べたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化・省エネ・大気汚染・自然 ・エコ・ゴミ問題 など <p>(1)意見表明</p> <p>①仮説を立てる。</p> <p>②新宿区の施策を調べ、その背景や理由を考える。</p> <p>③事実から感じたこと、考えたことをまとめる。</p>	<p>○各自の課題をグループの中に生かす。</p> <p>△新宿区の環境の取り組みを理解することができる。</p> <p>△ほかの区や東京都、世界の国々の実情を理解し比較することができる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">新宿環境未来</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">新宿区地図</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> <p style="text-align: center;">テーマ</p> <p style="text-align: center;">キーワード</p> </div> </div> <div style="text-align: right;"> <p>各グループの発表ではキーワードを生かし、新宿マップ上に掲示する。</p> </div> </div> </div>	
<p>(2)意見交換 〈授業協力者・来校者参加〉</p> <p>○意見を聞く。 → グループ会議</p> <p>(3)提言と宣言</p> <p>○調べたことをもとに地域や区に提言する。</p> <p>2 授業協力者の話を聞く。</p> <p>3 まとめをする。</p>	<p>○保護者、地域、関係団体、来校者との意見を交換し合う。</p> <p>○授業協力者とも意見交換を行う。</p> <p>△意見交換を通して伝えたいことを提案することができる。</p>